

「IPPF新事務局長がJPPF名誉会長らを表敬」

国際家族計画連盟（IPPF）のアルバロ・ベルメホ事務局長が、今年3月の就任後、初めて来日し、福田康夫JPPF名誉会長、逢沢一郎JPPF会長代行、武見敬三JPPF幹事長、阿部俊子JPPF副幹事長らを表敬訪問し、IPPFと日本との連携強化について協議を行いました。

5月28日、福田康夫JPPF名誉会長は、ベルメホIPPF事務局長および谷口百合IPPF本部チーフ資金調達アドバイザー（東南アジア）の訪日を歓迎し、続いて日本が直面する人口問題について、次のように指摘しました。



「現在、日本は少子高齢化に直面しているが、地球環境への負荷を考えれば、人口減少は決して悪いこととは言えない。しかし少子化と高齢化に伴って社会的課題が生じ、それへの対処が大きな問題になっている。アフリカでは人口増加が続き、中には人口の増加が国力だという誤った認識を持った指導者がいる国もある。これまで日本は人口の急増を抑制し、その結果、国際的に成長してきた。アフリカなどの国々にも、人口が増加する中では未来がない

ことを理解してもらう必要がある。

その意味で、いま日本は世界に注視されている。少子高齢化の中でも豊かで幸せな生活が実現できることを示すという、かつてない挑戦を行い、それを成功させ、世界に示していかなければならない。そのためには、日本の政治家が与野党を超えて取り組むことが必要である。」

ベルメホIPPF事務局長は、この指摘に対し、「日本がこれまで成し遂げてきた開発モデルは、いまなお世界で有効であり、日本の成果は誇るべきことである」と賛同しました。続いて、IPPFの事業の58%はアフリカに向けられており、ある程度指導者の理解は得られつつあるとはいえ、一般の人々の理解を一層形成していくことが重要であると説明しました。また10代の少女が、自分の未来への可能性を理解すれば、望まない妊娠・出産を防ぐことができた事例を挙げ、女兒への教育の重要性を強調しました。さらに日本政府が推進しているユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の実現は、人口が増加する中では不可能であり、そのためにもリプロダクティブ・ヘルス（RH）を全ての人が利用できるようにすることが必要だと述べました。



また、ベルメホ事務局長は、来年日本で開催される第7回アフリカ開発会議（TICAD）やG20などの重要な会議に向け、どのように訴えかけていくべきかとの助言を求め、福田名誉会長は、「IPPFの活動は、日本のジョイセフも含め、着実に途上国の女性たちの生活を改善する活動であるが、地味な活動と受け取られている。しかし女性の健康と人権の確保が、開発と公正な社会構築の最も基盤となる活動で

あり、そのことを改めて訴えかけていけば良いのではないかと述べました。そして、改めてIPPFの活動に感謝を述べるとともに、ベルメホ事務局長の今後の活躍に期待を寄せました。

また、逢沢一郎JPFP会長代行、武見敬三JPFP幹事長、阿部俊子JPFP副幹事長との会談では、ベルメホIPPF事務局長は、米国のグローバル・ギャグ・ルール（GGR）により、家族計画を実施している国際開発機関に対する抛出が停止され、各地で甚大な影響が出ていることを説明しました。IPPFは一昨年、シリア難民に対する支援の一環として、日本政府からの補正予算によるプログラムを実施し、非常に高い効果を上げたことから、これらの問題解決に向けた日本政府並びにJPFPの引き続きの支援を要請しました。逢沢一郎JPFP会長代行は、IPPFが国際保健分野で果たしている貢献に対して感謝を示すとともに、IPPFと協力して人道支援を進める意欲を表明しました。



写真提供:ジョイセフ

写真提供:ジョイセフ

IPPFは、世界最大級の国際保健NGOとして、140カ国以上の加盟協会を擁し、また170か国以上でセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス（SRH）に関するサービス提供、啓発や教育、政策提言活動を行っています。JPFPとはJPFP創設時より40年以上にわたる協力関係にあり、またIPPFは長年JPFP活動を支援してくださっています。



スペイン出身のベルメホIPPF事務局長は、20年以上にわたり国際医療分野で様々な活動に従事し、国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）の保健医療事業部長、国際HIV/AIDSアライアンス事務局長、子ども投資基金財団（CIFF）の“Survive and Thrive”（子どもたちの命と健やかな成長を守る）担当事務局長を歴任、2018年3月より現職。



国際人口問題議員懇談会（JPFP）事務局
（公財）アジア人口・開発協会（APDA）
TEL: 03-5405-8844
FAX: 03-5405-8845
E-mail: apda@apda.jp
Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。
尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。